

# 等友

S  
60  
10  
1生

〒111-0041  
台東区元浅草  
2-10-17  
3841-2844  
真宗大谷派  
勝龍山  
等覺寺  
住職  
朝倉創

平成28年12月  
第104号  
責任編集  
朝倉 翔



## 平成28年度 等友旅行会 (長野県松本城)

一日のたしなみには、

あさつとめにかかさじと、たしなめ

一月のたしなみには、ちかきとこう、  
御開山様の御座候うところへ  
まいるべしと、たしなむべし

一年のたしなみには、

御本寺へまいるべしと、たしなむべし

「蓮如上人御一代記聞書」 真宗聖典八六四頁より

一日のたしなみとしては、朝の勤行を  
おこたらないようにと心がけるべきである。  
一ヶ月のたしなみとしては、必ず一度は、親鸞  
聖人の御影像が安置されているお寺へ参詣しよ  
うと心がけるべきである。

一年のたしなみとしては、必ず一度は、  
ご本山(京都 東本願寺)へ参詣しようと心がけ  
るべきである

## 住職から一言

東京でも五十四年ぶりに十一月中に初雪が降りました。最近、日本の四季の移り変わりが失いつつあるのかなと感じます。急に暑くなったり急に寒くなったり・・・。みなさんも春らしさ、秋らしさを感じる日が少なくなった気がしませんか。

さてさて、前回ご案内しました月一講座

「歎異抄を読む会」も後半戦へと入りました。私自身、あらためて皆さんと一緒に歎異抄を読むことで、あらたな発見があつたり、親鸞聖人の言葉を頂き直すことが出来、嬉しく思っております。なによりの楽しみは何回かに一度有志の方々と勉強会が終わつたあとにお食事に行くことです♪お酒が入ることで、みなさんとの距離が縮まり本音が聞けたりし

ます。等覚寺を通じて新たなお友達を作つていただけたりするのを見て、月一講座を開くことにして本当によかったと感じております。途中からのご参加も隨時受け付けておりますので、お気軽にお申し付けください。



お勤めと講座中の様子



お食事会（大関さん撮影）

## ○浄土真宗のお盆

よく「浄土真宗ではお盆でどういうお飾り、お迎えの仕方をしたらいいですか」とご質問いただきます。それに関して簡単に触れさせていただきます。浄土真宗では、お盆だからといって、迎え火・送り火を焚いたり、盆提灯を出したり、なすやきゅうりで作った精靈棚をお飾りする必要は一切ございません。こういった習慣というのは、もともと仏教をおこりとするものではなく、日本の古来からの靈信仰から始まつたものなのです。先祖が靈となる、靈となつて四日間だけ戻つてくるという、仏教とは関係ない考え方から始まつた習慣として、浄土真宗ではいつもと同じように、御仏飯を供えて朝晩にお念仏を唱えるということを行つていただければと思います。

○永代経ならびに春の彼岸法要

平成二十八年三月十九日に永代経・彼岸法要をお勤めいたしました。おかげさまで多くの方とともに、ご先祖さまへいただいているのちへの感謝をすることができました。あらためて自身のいのちを見つめ直すきっかけとなるご縁ですので、ぜひ初めての方もお気軽にご参詣ください。

## ○盂蘭盆会

平成二十八年七月十六日に盂蘭盆会法要をお勤めいたしました。初盆の方と通常のお盆の方の二部制に分けさせていただき、総勢百二十名ほどのご門徒さんがご参拝下さいました。当日の等覚寺住職からの法話をご紹介させていただきます。



## ○淨土往生

さて今日お話したいのは、淨土に往生する、淨土往生ということです。実はこれを話そうと思つたのは先日の事件がきっかけです。フランスのニースで、トラックが観光客に突っ込んで八十数名の方が命を落としたということがありました。最近テロがすごく多いので、この自爆テロというものを調べてみました。この時の犯人は三十一歳、弟よりも若いぐらいです。そんな若者が自爆テロをする。若者なので、少なくとも未来があつてこれからいろいろな楽しいことがある、それなのに自分の命を落としてまでもテロを起こすという、なぜそんな考えに至るのでしょうか。

主義では、自分たちに對して敵対するものは全て敵であり、ジハード（聖なる戦争）をしたものには死後パラダイスへ行けると言われています。そのパラダイスは例えば若い男性にとつてみると、うら若くきれいな女性がいっぱいいるような所だよとか、そういうことを説かれるわけです。するとどうせ生きていてもこの先暗いし、死後が楽しくなるのだったら、ということで自爆テロを起こすようだと言われています。死後がパラダイスだという点で、少し引っ掛かりました。

淨土真宗の教えでも、この世（娑婆の世界）で命の縁が尽きたら、阿弥陀如来によつてお淨土へ救われていきます。淨土というのは、英語に訳すとピュアランドと言います。いと言われています。貧しい家庭環境で育つて、なかなか明るい未来が持てない、そして半ば自暴自棄になる。そんな時、イスラムの原理主義という教えに出会う。イスラム原理

たのです。そもそも自爆テロというのも、遠い海の向こうの話なのか、ということもあるわけです。この事件はフランス人が起こしました。移民をルーツに持つフランス人の男の子。日本でも二十年ぐらい前に、オウム真理教が起こした地下鉄サリン事件がありました。あれもテロですよね。オウム真理教に入ったのも高学歴の若者が多かった。実行犯も当時三十代前後の若者が多かったということです。それでもっと遡ると、自爆というところで共通するのは、戦争中に神風特攻隊というのがありましたね。あんまりこれを簡単に話してしまうと、戦争をご経験の方々に怒られてしまいますが、行きの分の燃料しか持たないで飛行機で突っ込んでいく。これもある種、自爆覚悟で突っ込んでいくということで、決して、遠い海の向こうの話ではないと思うんです。そういう私たち人間には、ご縁次第によつて、状況次第によつては、そういうこと

も起こし得るんじゃないか、という事でまず共通点があります。

### ○本当に往生したい？

次に浄土往生についての話です。今日いらっしゃった中に、本当に心から仏になりました。淨土に往生したいからここに来たんだという方、いらっしゃいますか？これは僕自身が、以前ある有名な先生に聞かれたことなのです。「今日君は、本当に仏になりたいと願ってきたのか」と。「淨土往生したいから話を聞きにきたのか」と。聞かれてドキつきました。生活の中で淨土往生など考えてもいなかつた自分に気付かされたからです。今の世の中、本当に淨土に往生したいと願つて「ナマンダブ、ナマンダブ」と称えるのはなかなか難しいですね。それが正直なところだと思います。

では、親鸞の時代はどうだつたのでしょうか

か。歎異抄に見てみたいと思います。そもそも歎異抄というのは、親鸞聖人とその弟子である唯円という方の会話を記したもので、親鸞亡き後にどうも親鸞聖人が言つてたことと違うことを言つている人が多く、自分はこういうことを親鸞聖人から聞いてたんだという歎（なげ）きをまとめたものです。異なりを歎くと書いて歎異抄です。この第九条には、唯円が最初に親鸞上人にこう聞きます。「お念仏をしておりましても、踊り上がって喜ぶような心がありませんし、また少しでも早く淨土に往生したいという心が起こつてこないのは一体どういうことでしょうか？」どうですか？これ今私が皆さんに聞いた質問と一緒にようと思つうんです。念仏して淨土に往生できるよと聞かされて、念仏はしてるんだけれども、なかなか往生できる喜びが湧いてこないんだと。多分相当勇気を持って聞いたと思ひます。なぜなら、師匠である親鸞に対して、あなた

の言うとおりにしてるけれど、どうも喜べないって言つてるようなものですからね。

これに対しても親鸞聖人は「唯円あなたもうであつたか、私もそうだよ」と返事をしたのです。これに唯円はびっくりしたことでしょう。さらに続けて、「あなたも同じ思いを抱えていたのですね。念仏をすることでも、踊り上がるほどに喜んでいいはずなのに喜べないのは、ますます間違いなく私が淨土に往生させていただけるしるしだと思う」と。喜べないからこそ、淨土往生が確定しているんだということが分かりました、とおっしゃつた。これはすごく逆説的で、一度聞いただけでは、何言つてるんだろうこの人は、と言いたくなるような言い方ですよね。そしてその理由が、「往生を喜ぼうとする心を抑えているのは煩惱のせいだ」と。私たちの煩惱は、生（命）に執着するわけです。今この娑婆の世界で生きたいと。だからこそ人間は死が

怖いし、死にたくないと思うのです。つまり煩惱が、淨土往生を喜ばせないようにしてるというわけです。

それで、本堂の真ん中にいらっしゃる私たちのご本尊の阿弥陀如来。阿弥陀如来がどなたを救いたいと願われたかというと、煩惱を抱えている人間たちよ、私が救いたいのはあなたたちだよ、と呼びかけているわけです。だから淨土往生を喜べない私こそ、阿弥陀如来が救つてくださるお目当てなんだということに気付けたから私は嬉しいんだ、と親鸞聖人はおっしゃったわけですね。この会話から親鸞聖人のお心をわかつていただけたかと思います。



等覚寺本堂の  
親鸞聖人絵像

### ○淨土真宗での救い

私たちも日頃「ナマンダブ、ナマンダブ」と念佛こそすれど、ある種口癖みたいになってしまっているような気がします。その南無阿弥陀仏によつて救われるということを教わるんですが、私は職業柄というか、「ナマンダブ、ナマンダブ」というのが自然と口から出ているだけのような気がすることも多いんです。ですが、それでいいんだと、そういう人間だからこそ阿弥陀さんは救つてくださるんだというのが親鸞の教えだつたわけです。ここに、私たちがそのまで救われてゆく道があると思うんですね。他の宗派のお坊さんのように、滝に打たれたりだと、お経を何遍も読んだりとか、断食をしてみたりとか、そういうことをしなければ救われないわけではないんだということですね。そういうことをして救われる道も確かにあるけれども、そういうことをしたくてもできない、時間もな

い、そういう私たちだからこそ阿弥陀さんは救おうとされている、だからこそ、そのまま生きていきなさいというのが、みんなで平等に救われていくという浄土真宗の一一番大事なところなのです。

それでは私たちが、喜ぶ瞬間というのはどういう時でしょうか。例えば、宝くじが当たつたりですとか、息子さんが会社内で昇進したとか、お孫さんが受験に受かったとか、そういう時にやっぱりうれしいですね。逆にそういう時にやつぱりうれしいですね。逆に悲しいですね。自分に不幸があつたりした時に、何でこんなことが起こるんだろうと気分が落ちる。そういうことで、私たちは常に日頃喜んだり悲しんだりしている。

例えば、宝くじが当たつたとして、十億円当たつたその翌日に事故に遭つて死んでしまつたら意味ないですよね。それと同じようにどんなに高い地位とか社会的名誉とか、財

産とかそういういったものは、死というものを目の前にしたら全く意味のないものなのです。そこに私たちは早く気付いてほしいと、ご先祖や仏さまから願われているのではないかと思ひます。ですが、日頃の私たちはそういうことに一喜一憂していく。そのことが大事なことのような勘違いをしてしまつていて。ですが、私たちの命はいつか必ず死がくる。よく笑い話でこう言います。「お金貯めても、お淨土へは持つていけないよ」と。それと同じく、大切にすべきものは違うのではないかと、仏さまが私たちに気付け気付け、とたびたびお淨土から願われているのではないかと思うわけです。

ですからお盆というものを機縁に、ご先祖さまが帰つてくるとか、四日間しか帰つてこないようなご先祖さまじやないと思うんです。それじゃ寂しいと思うのです。むしろ一年中、年がら年中私たちが合掌すれば、常に近くに

仏さまとなつた近しい方の存在を感じることができること。このことこそが本当に大事なことであつて、形にとらわれて、この四日間、迎え火焚いて、確かにそれは日本の古来からの美しい習慣でいいのです、それをやるなどは言いませんけれども、それだけ終えて、ああよかつたね、と。これではだめなんだということに気付かなければいけないなと思うのです。本当に大事なのは私たちが目覚めていくこと。私たちが命に目覚めることが本当に大事なんだということ。そのためにはこうやってまた皆さまと一緒に教えを聞き続けるということです。

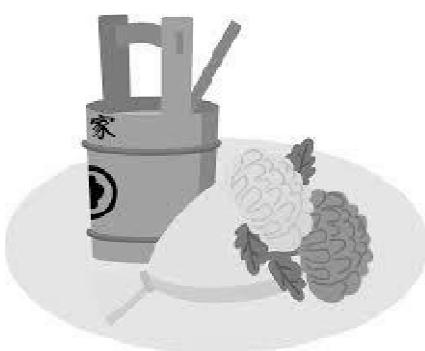
私もそうですが、本堂を一步出れば、お話をの内容は七割ぐらいになつて、お寺を出る頃には五割ぐらいになつて、近くの駅着いたら三割ぐらい、そしておうちに着いたら、今日住職何の話したつけなど。そうなるのが人間なんですよ。それはそれでいいんです。こ

の場だけで、ああそりだなあと思えたことがあれば、頷けたらそれでいいんです。おうちを持って帰ろうとか、皆さんに話そうとか、そこまで考えなくていいわけですね。皆さんがそりだなど一瞬でも頷ければ、それはもう仏さまが喜んでいただけることだと思います。

（法話 住職 釋 創龍）

## ○等友旅行会

平成二十八年六月二十六日から一泊二日で等友旅行会を開催しました。梅雨中だというのに両日ともに天気は快晴、天候にも恵まれて参加者十八名全員元気に楽しむことができました。今回巡ったのは、山梨と長野で、中



# 一日目



さあ出発!  
さっそく乾杯♪



信玄餅の桔梗屋さん  
信玄餅ソフトクリーム

でも大河ドラマ「真田丸」フィーバーに湧く上州上田の大河ドラマ館が目的地です。宿泊先のホテルにお仕事のご縁があるということでお酒の差し入れをして下さり、おかげ様でいつも以上に楽しい宴席となりました。この場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。ここからは写真を交えてご紹介させていただきます。



長野に移動して  
諏訪大社へ



お昼ごはんは  
山梨名物ほうとう

楽しい宴会!  
お酒の差入れいただきました♪

御柱 (おんばしら)



今話題の真田丸

帰りのバスもまだまだ元気！  
ゲーム大会信州味噌のお店で  
お買い物の

国宝の松本城

おつかれさま～  
また次回もお願いします！

お昼はきのこ鍋に下鼓♪



天守閣へ

## ○初参式（初参り）

子どもが生まれた後は、子どもの成長を祈るいろいろな行事があります。中でもお宮参りは多くのみなさんがやられることではないでしょうか。子どもが生まれて一ヶ月を目安に神社に参拝するというものです。これ、実はお寺でもできることをご存知でしたか？今はお寺でもできることをご存知でしたか？今回はこの初参式をご紹介させていただきます。

そもそも神社のお宮参りというのはどのような意味でやられているのでしょうか。日本では古くからさまざまな神様がいると信じられており、その中でも普段から私たちを守ってくれる土地神さまに挨拶をするという意味と、お産には出血が伴うため、お産 자체がけがれであるという考え方があり、そのけがれを祓うという意味もあるそうです。

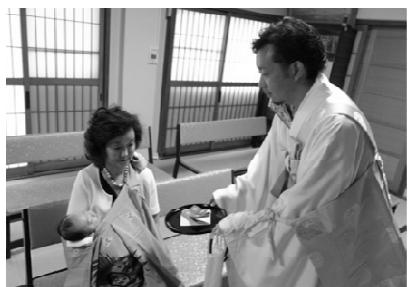
では、お寺はどうなのでしょうか。あまり知られてはいませんが、お寺でも初参式という呼び方で初参りの行事が昔からあるので

す。その意味としては、もちろんけがれという考え方自体存在しませんので、お宮参りとは違います。かけがえのない新たなのちの誕生を、慈悲の心で私たちを見守ってくださる阿弥陀如来やご先祖さまにご報告することで、周囲の人々を敬い、自他共にいのちを大切にして生きる本当の優しさが身につくように説かれている仏教の教えをあらためて家族で確かめ合い、赤ちゃんにその成長を願う場であります。



具体的な式の流れとしては、ご家族みんなでお集まりいただき、ご本堂へ。そこでご本尊やご先祖さまへご奉告（報告）と感謝の参拝。読経。参拝後にお子様に誕生児念珠を授与いたします。だいたい二十分くらいの式です。

←誕生児念珠が中に入っています



みなさまもご先祖さまへのご報告も兼ねてお寺での初参式も受式されてみてはいかがでしょうか。等覚寺では初参式をいつでも受け付けております。ご希望される方はぜひお気軽にお寺までご連絡ください。

## 備忘録　～法事の準備～

### ○まずはお寺へ日程連絡

回心の確認をし、「家族で法要希望日をお決めになりお早田にお寺へ」連絡ください

### ○当日必要なもの

- ・お布施

- ・お花代（本堂にお飾りする

- ・お花代で、一万円の実費）

### ○「希望」によってお持ちください

- ・お供物

- ・過去帳やお位牌

- ・遺影（小さじもの）

### ○服装は平服でも結構です。

（「参加される方同士でお話しされてお決めください」）

※お寺へお包みいただく表書きは全て「布施」と書いていただければ結構です。浄土真宗の場合は「読経料」

「」靈前「といふ言葉は用いません。

## 備忘録　～お焼香作法～

### ○お焼香のタイミング

お勤め中に声が掛かりますので、それまでお待ちください。順番には決まりはないので、施主の方から前に出て「」焼香ください

### ○お焼香作法

- ・焼香机の前に進み、合掌せずに「」本尊を仰ぎ見ます。赤い香盒（香入れ）の蓋を開けて香盒の右に置きます。

- ・右手でお香を二回、香炉にくべます。（お香を額に頂くことはしません）お香の乱れを指先で直してから「南無阿弥陀仏」を称えて合掌礼拝します。

- ・自分の後にお焼香する方がいれば蓋はそのままにし、最後であれば蓋を閉めて自席に戻ります。

# 備忘録　～お葬式について～

## ○事前のご相談もお気軽に

亡くなられた後ではバタバタとしてゆっくり検討する時間がありません。お寺にご連絡いただければ葬儀までの流れなどご不明、ご不安な点のご説明もさせていただきます。

## ○葬儀の場所

基本的にどちらでも伺わせていただきます。遠方でも泊まりがけでお勤めさせていただいているので気にせずにご依頼ください。

また、可能な方はぜひお寺でご葬儀を。故人が生前ご縁のあつた等覚寺の本堂で、あたたかくおごそかなご葬儀をすることができます。

## ○葬儀の布施

この時お預かりする布施は通夜葬儀のお勤めの対価ではありません。亡くなつた時をご縁にお寺の護持のためお納めいただぐものです。どうぞお気軽にご相談ください。

## 等友へのご懇志

加藤伊知郎様　浅井京子様　小林道子様  
鈴木きみ子様　山本一正様　高橋健治様  
(順不同)

## ご披露

いつもご支援いただきまして、誠にありがとうございます。この等友誌や等友会は、こうしたご支援から成り立つております。これからもぜひ「等友へ」と、ご協力いただけますと幸いです。また、他にも多数の方から等友へのご支援をいただいております。(申し訳ございませんが、お名前には漏れがあるかと存じます。おっしゃつていただければ次号以降に順次ご紹介させていただきたく思います)

## 本山東本願寺へ宗門護持金完納

等覚寺は真宗大谷派に属する末寺です。

毎年ご本山の宗門護持のために護持金を納めておりますが、今年もみなさまのご協力のおかげで無事に完納することができました。この場を借りて御礼申し上げます。また併せて、これからもみなさまからの変わらぬサポートをお願い申し上げます。

### 境内の整備

等覚寺の玄関先にはいつもきれいなお花が咲いていますが、あれは実は宮原勉さんご夫妻が定期的にお手入れして下さっています。いつもありがとうございます！



## 編集後記



「ここにちはー・釋翔雲です。突然ですが、この場を借りてご報告です。私事ですが、平成二十八年六月六日に第一子である男の子が産されました。名前は悠人（ゆうと）といいます。今回の等友では初参式を取り上げましたが、実はあの記事の写真が悠人なんです。ちょっと照れくさいので記事の中では触れませんでしたが（笑）

おかげさまで今は六ヶ月を過ぎ、順調にすくすくと育つております。（ぶくぶくして育ちすぎかもせんが・・・）

これから行事などにたびたび出席させたいと思つておりますので、どうかかわいがつてあげてください。よろしくお願ひします！

## 平成二十九年行事予定

一月二十二日（日）

新年会法要

三月十七日～二十三日 春季彼岸

三月二十日（月）

春季彼岸会・

永代経法要

七月十三日～十六日

お盆

七月一六日（日）

盂蘭盆会法要

九月二十日～二十六日 秋季彼岸

十月二十二日（日）

報恩講

◎みなさまお誘い合わせの上、

お気軽にご参加ください。

## 平成二十九年 年回表

一周忌

平成二十八年

三回忌

平成二十七年

七回忌

平成二十三年

十三回忌

平成十七年

十七回忌

平成十三年

二十三回忌

平成七年

二十七回忌

平成三年

三十三回忌

昭和六十年

三十七回忌

昭和五十六年

四十三回忌

昭和五十年

四十七回忌

昭和四十六年

五十回忌

昭和四十三年

七十四回忌

昭和二十三年

百回忌

大正七年